

2018年4月18日

AGC 旭硝子、新研究棟の建設を開始

AGC旭硝子（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は、当社京浜工場（横浜市鶴見区）に新たな研究棟の建設を開始し、本日鍬入式を行いました。総投資額は約 200 億円で、2019 年 7 月の竣工を目指します。

新研究棟の建設は次の 2 点を目的として、2017 年 2 月に決定しました。

- ① 現在 2 ヶ所に分散している基盤技術開発・新商品開発・プロセス開発・設備技術開発機能を集約・統合し、研究開発スピードの大幅な向上を図る。
- ② 基礎となるコア技術の開発を行う研究実験室と共に、他の企業や研究機関と協創（コラボレーション）できる空間も設け、新領域の開拓や新たな価値の創造を実現する。

その後コンセプトの具体化や設計の確認等を経て、本日の建設開始に至りました。新研究棟は 2019 年 7 月に竣工し、新研究体制を 2020 年 6 月よりスタートする予定です。



鍬入式

AGC グループは、経営方針 **AGC plus** の下、今後もお客様に満足頂ける、新たな価値をプラスした製品やソリューションをご提供できるよう技術革新を進めてまいります。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC 旭硝子 広報・IR 部長 玉城 和美

（担当：北野 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com）

<ご参考>

■ 新研究棟概要 ■

<延床面積>

・研究棟：45,000m²

・付属棟：3,000m²

計：48,000m²

<竣工予定>

・2019年7月



新研究棟イメージ図

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC 旭硝子 広報・IR 部長 玉城 和美

(担当：北野 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com)